

【 経 理 部 】 令 和 3 年 度 活 動 計 画

1 方 針

- (1) 東日本大震災・原子力災害を含む教育課題を踏まえ、学校の教育機能の回復(創造性に満ちた教育の活性化)に向けて、さらには、その後日本各地において起きている大規模災害に向け、県内はもとより国内における災害に対し即応できる校長会としての機能をより一層充実、強化させる。合わせて、7月に実施される東北大会の成功に向けて、さらには令和7年度の国会100周年、9年度の全国大会への備えを強化させるため、状況を見極め、適切且つ重点的な予算の編成に努める。
- (2) 各支会活動のより一層の充実を図るために、効果的且つ迅速な予算執行に努める。

2 活動の重点

- (1) 各地区・各部会の現状を踏まえるとともに、その時々々の状況を見極め、本会の目的に沿った質の高い価値ある活動が展開できるよう、適切な予算編成と効果的且つ迅速な予算執行に努める。さらに、東日本大震災及び原子力災害からの復興への不断の取組に向け、効果的な予算の執行に努め、教育機能の回復・強化促進に向けた支援をする。
- (2) 東日本大震災見舞金(義援金)の適正な出納事務を行う。
- (3) 「福島県小学校長会基金」の適正な出納事務を行う。
- (4) 7月開催の東北連小福島大会及び第50回福島県小学校長会研究協議会福島大会に向け、本会活動の充実・発展とともに、本大会の成功を期するために、適正な予算編成と執行に努める。
- (5) 「東北地区開催の全国大会運営準備金」の徴収と適正な出納事務を行う。
- (6) 各支会及び各部との連携を密にし、会費の徴収及び予算の執行を適切且つ迅速に努める。
- (7) 会員が減少する中、未来を担う子どもの育成を支える本会活動を一層活性化させるために、今後もショートスパンで会費や予算、執行の在り方について検討していく。合わせて、本会創立100周年(令和7年度)に向けた備えも進めていく。